

9. 参考資料

- ・ 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業の取組状況
- ・ 魚を活用した他港の開発事例
- ・ 明石市市街地への来訪形態とターゲット
- ・ 明石港周辺のハザードマップ

明石市中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業の取組状況

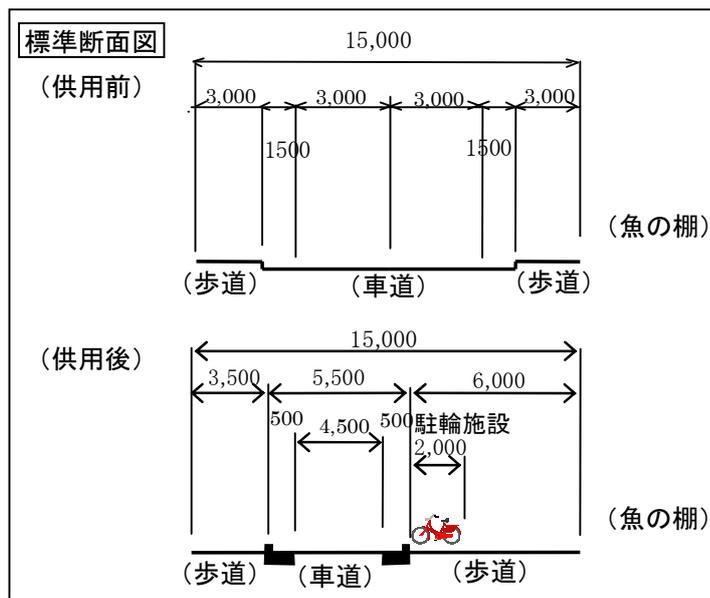
No.	事業名	取組状況	No.	事業名	取組状況
市街地の整備改善のための事業			商業活性化のための事業		
1	明石駅前南地区第一種市街地再開発事業	取組中	1	明石駅前南地区第一種市街地再開発事業[再掲]	取組中
2	明石駅前広場再整備事業	取組中	24	アスパシア明石ショッピングセンターリニューアル事業	取組中
3	国道2号立体横断歩行者道路整備	取組中	12	景観向上施策推進事業[再掲]	取組中
4	市道明石中央42号線ほか歩行環境整備	取組中	25	駅前商業施設整備事業	取組中
5	県道明石高砂線（明淡線）道路整備事業	取組中	26	本のまち明石関連事業	取組中
6	船上東部地区下水道事業	取組中	27	明石まちなかバル事業	取組中
7	国道2号明石駅前交差点改良	取組中	28	明石半夏生たこまつり事業	取組中
8	明淡線自転車駐車場整備事業	取組中	29	ほんまち三白館活用事業	取組中
9	明石港周辺利活用計画の策定	取組中	30	商店街安全安心対策事業	取組中
10	明石港親水施設等整備事業	取組中	31	春旬祭事業	取組中
11	明石港駐輪場改修事業	取組中	32	地域主体のイベントプラットフォーム検討事業	取組中
12	景観向上施策推進事業	取組中	33	まち魅力情報発信事業	取組中
13	明石駅周辺施設間の立体歩行者ネットワーク検討事業	取組中	34	中心市街地の空間有効活用事業	取組中
14	ドライミスト事業	取組中	35	明石海峡クルーズ事業	取組中
都市福利施設を整備する事業			36	明石まちなか体験事業	取組中
1	明石駅前南地区第一種市街地再開発事業[再掲]	取組中	37	大型観光バス誘致促進事業	取組中
15	あかし子ども広場整備事業	取組中	38	明石焼を活用した観光振興事業	取組中
16	あかし市民図書館整備事業	取組中	39	時のウィーク関連事業	取組中
17	あかし市民広場整備事業	取組中	40	明石市民まつり運営事業	休止
18	あかし総合窓口整備事業	取組中	41	明石駅周辺景観演出事業	休止
19	駅前医療モール整備	取組中	42	明石ミュージックストリート事業	取組中
20	明石駅周辺公共施設リノベーション事業	取組中	43	まちなかギャラリー事業	取組中
21	ひなたぼっこ活用事業	取組中	44	芸術文化振興事業	取組中
居住環境の向上のための事業			45	まちなか歴史資産活用事業	取組中
1	明石駅前南地区第一種市街地再開発事業[再掲]	取組中	46	市制100周年・明石城築城400周年記念夢事業	取組中
6	船上東部地区下水道事業[再掲]	取組中	公共交通の利便増進事業		
22	駅前高層住宅整備事業	取組中	2	明石駅前広場再整備事業[再掲]	取組中
23	喫煙防止マナーアップ運動	取組中	47	バス運行情報提供システム導入事業	取組中
			48	交通結節点利便性向上事業	取組中

5…明石港に関する事業

特に、中心市街地南の拠点整備や回遊性創出につながる取組は以下のとおり。(前頁の事業以外の取組みも含む)

◎事業 No. 5 県道明石高砂線（明淡線）道路整備事業（兵庫県）

明石市の「一歩足を伸ばして楽しめるまち」づくりを支援するため、高齢者、障害者をはじめ歩行者が気軽に安心して商店街を回遊できることを目的に、明淡線（県道明石高砂線）において、十分な歩行者空間の創出や段差解消等のバリアフリー、通過車両の削減、美装化等を行う。(事業期間：平成 22～28 年度)



◎事業 No. 8 明淡線自転車駐車場整備事業（(公財) 自転車駐車場整備センター）

駐輪施設を拠点とした自転車による周辺施設利用者の増加を促し、国道 2 号以南への回遊性を高めるため、明淡線（県道明石高砂線）において、歩道にラック式駐輪施設（62 台）を整備する。(H28 年 10 月下旬に供用開始)



◎事業 No. 9 明石港周辺利活用計画の策定（明石市）

市が中心市街地南の拠点を目指した中長期的な明石港周辺の利活用計画を策定。今後、「明石港東外港地区再開発計画検討委員会」の検討内容と整合を図り、計画期間内の策定がなされる見込み。

◎事業 No. 10 明石港親水施設等整備事業（明石市）

集客力や回遊性を強化するため、フェリー乗り場跡地に隣接する、市が寄贈を受けた棧橋などのプロムナード化、高速船乗り場や水産物分場近くの休憩施設、および旧灯台の景観などの整備を行う。（事業期間：平成 27 年度～平成 32 年度）

※平成 27 年 9 月下旬、ジェノバラインが浮棧橋新設により可能となった小型バイク（125cc 以下）の乗降に配慮して、旅客待合所を一部リニューアル。

平成 27 年 10 月下旬、明石市が中崎みなと公園への通路を暫定整備。



◎事業 No. 11 明石港駐輪場改修事業（明石市）

高速船乗り場に隣接する駐輪場の環境改善および老朽化対策を目的として、暫定整備を実施（H28 年 1 月下旬供用開始）。これにより、駐輪台数は 160 台増加（290 台→450 台）。

今後、旅客ターミナル以東の明石港親水施設等整備事業とあわせ、更なる環境改善がなされる見込み。



◎事業 No. 27 明石まちなかバル事業（明石まちなかバル実行委員会）

明石の食材を使い、店主が趣向を凝らしたお料理と飲み物で手ごろな値段で味わえるバルを、カフェ、洋食、和食、バーなど様々なお店が参加し、これまでに計 10 回開催している。参加店は年々増加傾向にあり、各店とも趣向を凝らす傾向にある。

恒例のイベントとして来場者にも認知されているようでリピーターも多い。地元商店等の活力を生かし、今後とも観光誘致の推進力となることが期待されている。



（資料：平成 28 年 6 月まちなかバル参加店舗マップ）

◎事業 No. 29 ほんまち三白館活用事業（本町商店街振興組合、各商店街）

ほんまち三白館は、映画館を大衆演劇場に改修したもので、中心市街地の南のエリアにおいて、大衆演劇の興行や貸し会場として運営を行い、地域住民や文化の交流拠点として機能させることで、来街者を南側へひきつけ集客力を強化することを目的に平成 27 年 12 月にオープン。

今後は、魚の棚と並び明石の集客地としてこれらを有機的に結び、回遊性とにぎわいの創出が図られる見込み。



[プログラム例（平成 28 年 9 月）]

- | | |
|---------|----------------------------|
| 25 日(日) | 芝居 昼 総座長十八番狂言「不如帰 ～ホトトギス～」 |
| | 夜 「明暗旅合羽」 |
| 26 日(月) | 芝居「木曾恋鴉」 |
| | 特選ショー「貝殻節」 |
| 27 日(火) | 芝居「峠の茶屋」 |
| | ラストショー「はぐれ雲どこへ」 |
| 28 日(水) | 芝居「情けの捕縄」 |
| | 特選ショー「誉れの黒田節」 |
| 29 日(木) | 千鶴楽 |
| | 芝居「杵掛時次郎」 |
| | ラストショー「さのさ」 |

◎事業 No. 35 明石海峡クルーズ事業（(株)淡路ジェノバライン）

平成 18 年度より、淡路との海上交通を担う(株)淡路ジェノバラインが明石海峡を活用したクルーズ事業を実施していたが、乗船客が少なく事業継続が難しいとのことから、平成 23 年度以降、未実施。

◎事業 No. 37 大型観光バス誘致促進事業（明石市）

明石市への観光客誘致を促進するため、現在、観光バス駐車場 8 台分を中心市街地に近い大蔵海岸に整備しているが、より市街地に近い駐車場の整備が求められている（平成 27 年度の駐車台数実績は 500 台超）。

今後も旅行社への PR や乗降場の整備など、観光バス誘致の環境整備が進められる予定。

◎事業 No. 38 明石焼を活用した観光振興事業（(一社)明石観光協会、明石市）

明石市は、あかし玉子焼きひろめ隊による「B-1 グランプリ」出展など、民間団体のあかし玉子焼きの知名度を向上させる活動と連携して、明石への誘客を進めている。

今後も民間団体と協力、連携し、より一層の PR、誘客が図られる見込み。

◎その他事業 海上交通機能の強化（明石市）

明石海峡航路は、これまで淡路島との交流と生活を支えてきた航路であり、地域活性化に欠かすことのできない公共交通であるが、平成 22 年の明石岩屋間のフェリー航路休止以降、明石海峡大橋を通行できない 125cc 以下のバイクや自転車等の輸送手段の確保が課題になっていた。

この課題を解消し、明石海峡航路の輸送機能維持及び強化を図るべく、平成 27 年 8 月、新船「まりんあわじ」が就航し、旅客 180 名、自転車 20 台、小型バイク（125cc 以下）8 台を輸送できるなど、増加する淡路島自転車ツーリストの重要な移動手段となっている。



新船「まりん・あわじ」

<参考：自転車ツーリストに関するトピックス>

・「播磨サイクリングロード（姫路明石自転車道）」

明石市から姫路市までを結ぶ、約 35km の自転車道。明石川西岸から江井ヶ島海岸まで、約 7km に渡って続く海岸沿いの「浜の散歩道」もコースに含まれ、アップダウンが少なく、快適なサイクリングが楽しめる。

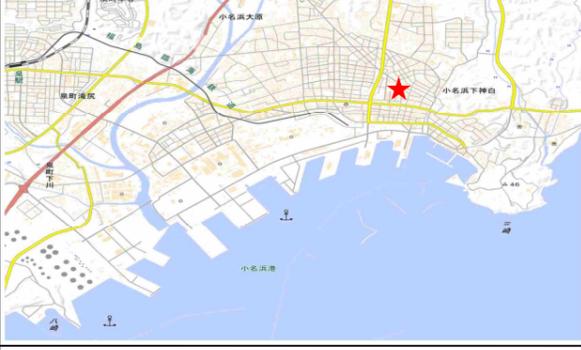
・「アワイチ」

自転車による淡路島一周（通称「アワイチ」）をはじめとした、淡路島を巡るコースがサイクリストに好評で、明石～淡路間の自転車輸送台数が年々増加している。

また、平成 22 年からは、自転車で淡路島一周 150km を走行する「淡路島ロングライド 150」が毎年開催されており、景色やグルメを楽しみながら走るイベントとして人気を博している。

魚を活用した開発事例

- ・重要港湾及び地方港湾において、魚を活用した開発を行っている箇所
- ・「全国モデル道の駅」に選定された「萩しーまーと」（萩漁港）についても調査

	港名	施設名（住所）（運営主体）	位置図	施設概要	同地区に整備されている施設	
1	稚内港	稚内副港市場 （北海道稚内市） （(株)副港開発）		海産物や地場産牛乳など、北海道のお土産などのお店が軒を連ねる「市場棟」とロシア料理などの地域の特性を生かした飲食店が並ぶ「波止場横丁」、稚内のかつての街並みを再現した「ギャラリー棟」、および稚内港を一望できる露天風呂と、地元の食材を活かした料理を堪能できる「温泉棟」より構成される複合商業施設として運営している。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・北防波堤ドーム （土木学会選奨土木遺産） ・水夢館（プール） ・みなとオアシス
2	酒田港	さかた海鮮市場 （山形県酒田市） （(株)菅原鮮魚）		酒田港のすぐそばにある「さかた海鮮市場」は、年間来訪者数は、約45万人（H26）であり、1Fでは、日本海で水揚げされたばかりの新鮮で美味しい地魚を中心に扱っている鮮魚店があり、2Fでは、日本海庄内浜でとれた旬の地魚を食することができる市場である。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田海洋センター （酒田港や船の博物館） ・みなとオアシス
3	小名浜港	いわき・ら・ら・ミュウ （福島県いわき市） （(株)いわき市観光物産センター）		『いわき・ら・ら・ミュウ』は、年間来訪者数が約175万人（H27）ある観光物産センターであり、「いわき」ならではの新鮮な海の幸を食べることができる「レストランゾーン」、港直送の海の幸をセリ気分で買い物できる「おさかなゾーン」、自然の素材、産物を活かした伝統の味を購入できる「物販ゾーン」より構成される。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクアマリンふくしま （水族館） ・みなとオアシス
4		アクアマリンパーク交流館 （福島県いわき市） （小名浜美食ホテル）		小名浜港の倉庫として利用されていた施設を利活用し、民間活力を導入した再開発を行い、交流人口の拡大を図り、更なる賑わいを創出するために整備された交流館である。交流館1号は、商業施設（地域の食のテーマ館）で飲食や物販ができ、交流館2号は、情報提供機能を持った休憩施設として、来訪者が利用することができる。	 	
5	七尾港	能登食祭市場 （石川県七尾市） （(株)香島津）		「能登食祭市場」は、天然の良港として古くから栄えてきた能登最大の漁港・七尾港にあり、年間来訪者数は、約81万人（H26）ある。施設では、朝どれの新鮮な海産物の飲食店や浜焼きができ、能登の銘産品の販売、四季折々の能登の祭りをはじめとした観光情報の提供、グルメが味わえるレストランやイベント広場として活用されている。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・七尾マリンパーク （イベント広場、親水広場、ボードウォーク） ・みなとオアシス

	港名	施設名(住所)(運営主体)	位置図	施設概要	施設概要	同地区に整備されている施設
6	御前崎港	御前崎海鮮なぶら市場 (静岡県御前崎市) (御前崎まちづくり(株))		広大な芝生の多目的広場や人工海浜、オートキャンプ場、キッズ広場等を有しているマリパーク御前崎に隣接する「御前崎海鮮なぶら市場」は、御前崎港に水揚げされる海産物や、全国から直送された沢山の海産物を販売している「海遊館」と、新鮮な魚介類を飲食できる「食遊館」から構成される複合商業施設である。		<ul style="list-style-type: none"> ・マリパーク御前崎 (多目的広場や人工海浜、オートキャンプ場、キッズ広場) ・みなとオアシス
7	沼津港	沼津みなと新鮮館 (静岡県沼津市) (沼津魚仲買商協同組合)		「沼津みなと新鮮館」は、魚食の普及と地産地消を目的とした、物販・飲食の13店舗で構成する商業施設である。 施設には、観光客の利便のためのトイレや観光案内、イベントスペースが整備されており、四季折々のイベントを開催しており、多くの観光客で賑わっている。		<ul style="list-style-type: none"> ・沼津魚市場 ・沼津港深海水族館 (シーラカンス・ミュージアム) ・みなとオアシス
8	田辺港	とれとれ市場 (和歌山県西牟婁郡白浜町) (堅田漁業協同組合)		「とれとれ市場南紀白浜」は、漁業協同組合(堅田漁業協同組合)が運営する和歌山県白浜町の海鮮市場である。 和歌山の魚貝類を販売しており、正面玄関から入って真向かいにある水族館並みの巨大水槽では、クエなどの魚が回遊しており、いつでも鑑賞することができる。		
9	宇和島港	きさいや広場 (愛媛県宇和島市) ((株)うわじま産業振興公社)		2009年4月に宇和島港近くに建設された「きさいや広場」は、道の駅の機能も兼ね備えた交流拠点施設である。 愛媛の郷土料理を食べることができる飲食施設や、銘菓や海産物、地酒などの宇和島の特産品の販売店や市民ギャラリー、屋根つきのイベント広場などより構成される。		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 ・屋根つきイベント広場 ・多目的広場 ・牛鬼館、真珠館(展示室) ・みなとオアシス
10	八幡浜港	どーや市場 (愛媛県八幡浜市) (代表:魚とら)		「どーや市場」は、2013年4月に、新鮮な海産物の直売所として建設され、年間来訪者数は105万人(H27)となっている。隣地には、情報発信施設である「みなと交流館」、果物や野菜などの直売所やフードコートやカフェを有する「アゴラマルシェ」が整備されている。各種イベントも開催され、地域の内外からの多くの来訪客で賑わっている。		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 ・アゴラマルシェ (直売所、フードコート、カフェ) ・みなと交流館 ・みなとオアシス

	港名	施設名(住所)(運営主体)	位置図	施設概要	同地区に整備されている施設	
11	三田尻中関港	潮彩市場 (山口県防府市) (潮彩市場ほうふ振興事業 協同組合)		2008年3月に整備された潮彩市場は、2015年10月に道の駅として指定され、年間の施設利用者数は、約45万人(H26)となっている。 1階では各店舗が地元で水揚げされた鮮魚を中心に対面形式で販売している。また、2階の飲食店街では、早朝に水揚げされた新鮮な魚を使用した海鮮料理を食することができる。		<ul style="list-style-type: none"> 道の駅 緑地 市場 浜焼き店 みなとオアシス
12	牛深港	うしぶか海彩館 (熊本県天草市) (株)うしぶか)		うしぶか海彩館は、中央に大型のいけすがあり、それらを取り囲むように配置された特産品の販売や魚のレストラン、漁業の歴史資料館、世界の貝の展示場など、様々なイベントが開催される多様な施設が整備されている。また、道の駅としても指定されている。	 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅 温泉 みなとオアシス
13	萩漁港	萩しーまーと (山口県萩市) (ふるさと萩食品協同組合)		2001年4月、萩市沖で取れた魚介類を直接販売する産地直送施設「萩しーまーと」を萩漁港の隣の国道191号沿いの埋立地に開業した。年間の入館者数は約140万人。 施設には、鮮魚や海産物店など17店舗の他に、海鮮料理を専門とする飲食店の計19店舗が入居しているほか、萩の食に関する情報や観光情報を自由に検索できる情報ターミナル、大型駐車場を併設している。	 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅 市場 親水公園

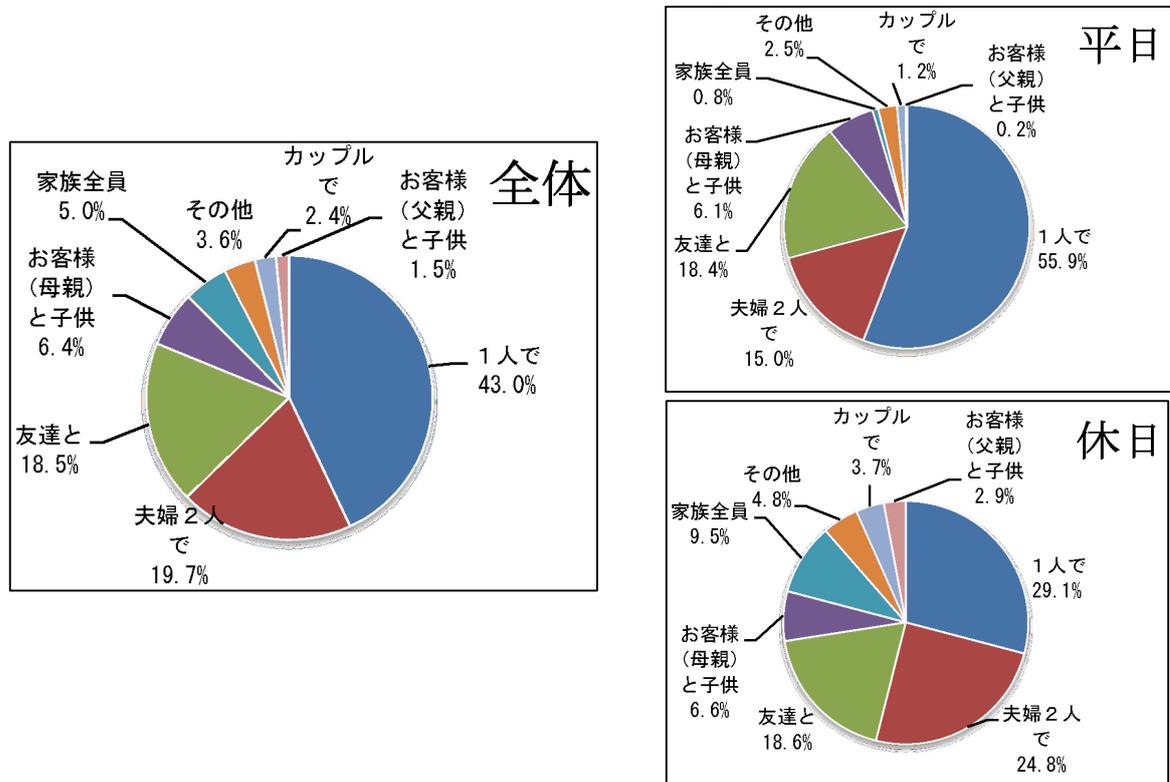
明石市市街地への来訪形態

明石市市街地へ訪れている人の来訪形態は、全体としては、「1人で」が4割強と多く、「夫婦2人で」と「友達と」が、各々2割弱となっている。

来訪者の属性別にみると、市内在住者は、「一人で」訪れているのが、平日と休日の全体で6割となっており、次いで「夫婦2人で」と「友達と」の複数人による来訪形態が、合わせて3割前後となっている。

一方、市外来訪者は、「夫婦2人で」と「友達と」の複数人による来訪形態が、平日、休日ともに、合わせて5割強を占めており、「1人で」は、平日で3割強となっている。

表-9.1 明石市への来訪形態



市内在住者

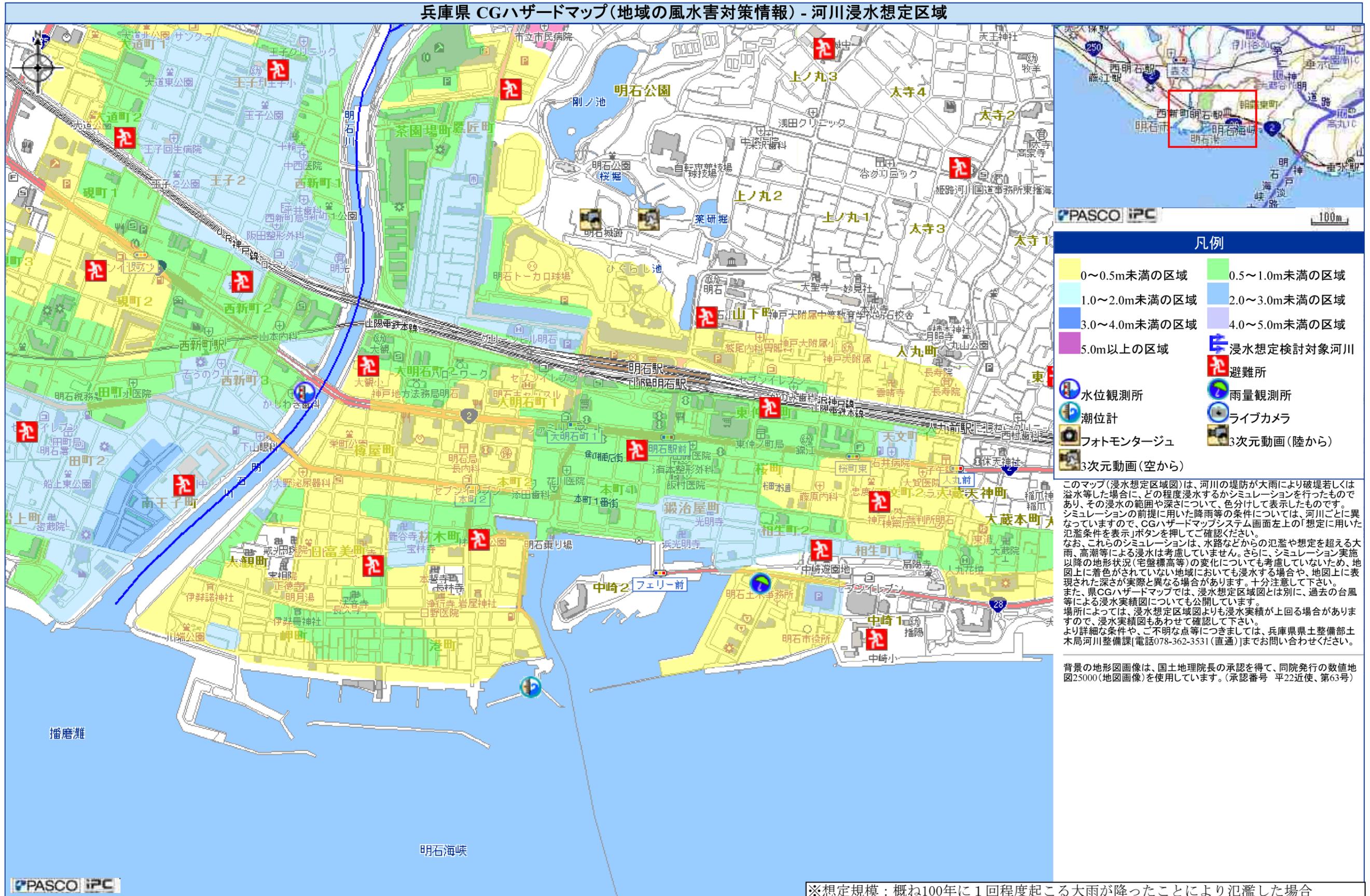
	平日	割合	休日	割合	全体	割合
1人で	238	64.5%	109	52.2%	347	60.0%
友達と	48	13.0%	40	19.1%	88	15.2%
夫婦2人で	50	13.6%	28	13.4%	78	13.5%
お客様(母親)と子供	26	7.0%	18	8.6%	44	7.6%
家族全員	2	0.5%	7	3.3%	9	1.6%
その他	4	1.1%	1	0.5%	5	0.9%
お客様(父親)と子供	1	0.3%	4	1.9%	5	0.9%
カップルで	0	0.0%	2	1.0%	2	0.3%
合計	369	100.0%	209	100.0%	578	100.0%

市外来訪者

	平日	割合	休日	割合	全体	割合
夫婦2人で	28	18.4%	92	33.5%	120	28.1%
友達と	48	31.6%	50	18.2%	98	23.0%
1人で	53	34.9%	32	11.6%	85	19.9%
家族全員	2	1.3%	39	14.2%	41	9.6%
その他	9	5.9%	22	8.0%	31	7.3%
カップルで	6	3.9%	16	5.8%	22	5.2%
お客様(母親)と子供	6	3.9%	14	5.1%	20	4.7%
お客様(父親)と子供	0	0.0%	10	3.6%	10	2.3%
合計	152	100.0%	275	100.0%	427	100.0%

出典：来街者アンケート調査結果(中心市街地)、平成26年3月 明石市産業振興部商工労政課

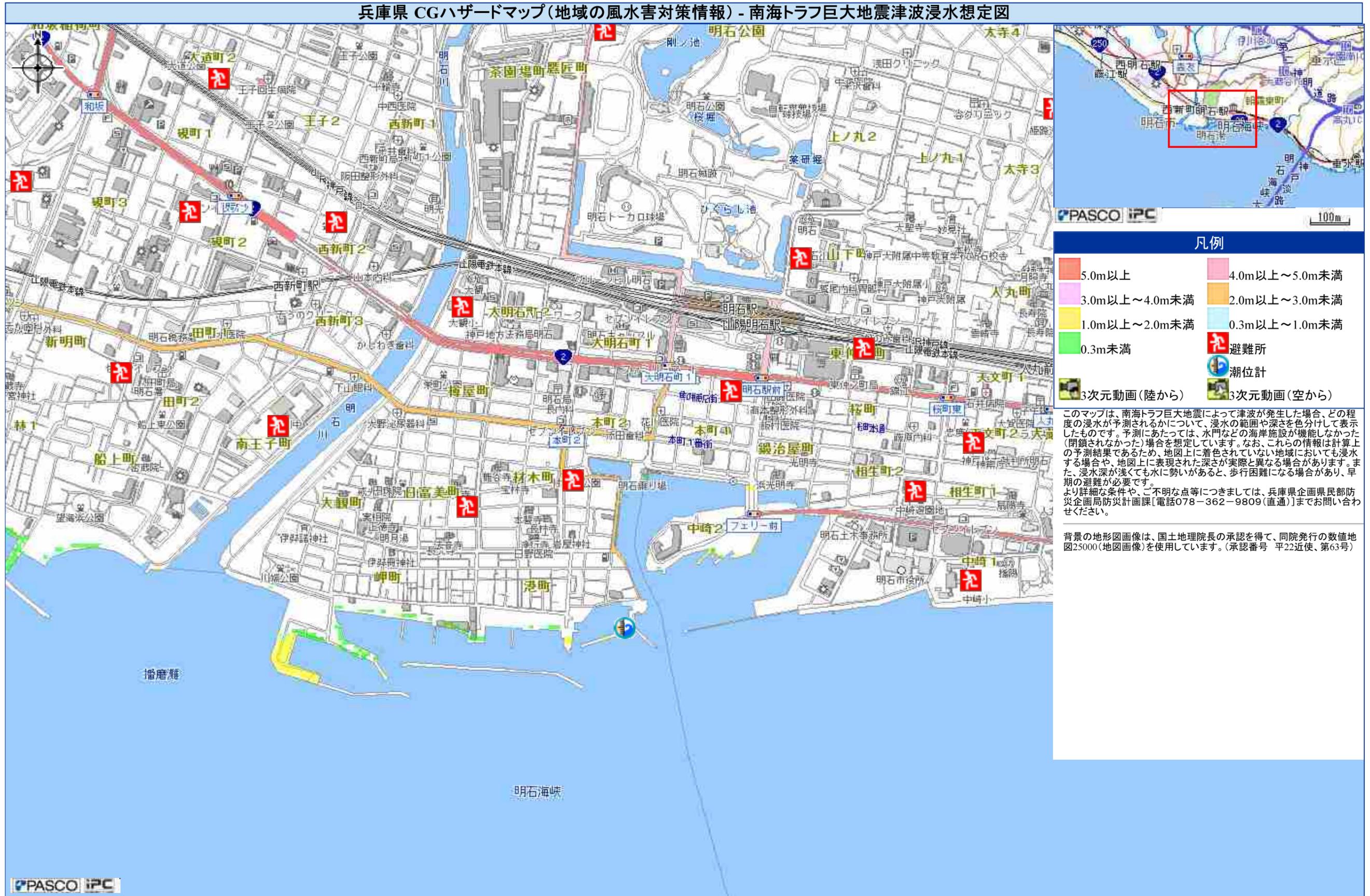
1. 明石港周辺のハザードマップ(河川の氾濫)



※想定規模：概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合
 (明石川は概ね30年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に流下させることを整備目標としている。)
 雨量条件：1時間総雨量86mm
 破堤の有無：明石川左岸が破堤したことを想定している。

2. 明石港周辺のハザードマップ(津波)

兵庫県 CGハザードマップ(地域の風水害対策情報) - 南海トラフ巨大地震津波浸水想定図



凡例

	5.0m以上		4.0m以上～5.0m未満
	3.0m以上～4.0m未満		2.0m以上～3.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満		0.3m以上～1.0m未満
	0.3m未満		避難所
			潮位計
	3次元動画(陸から)		3次元動画(空から)

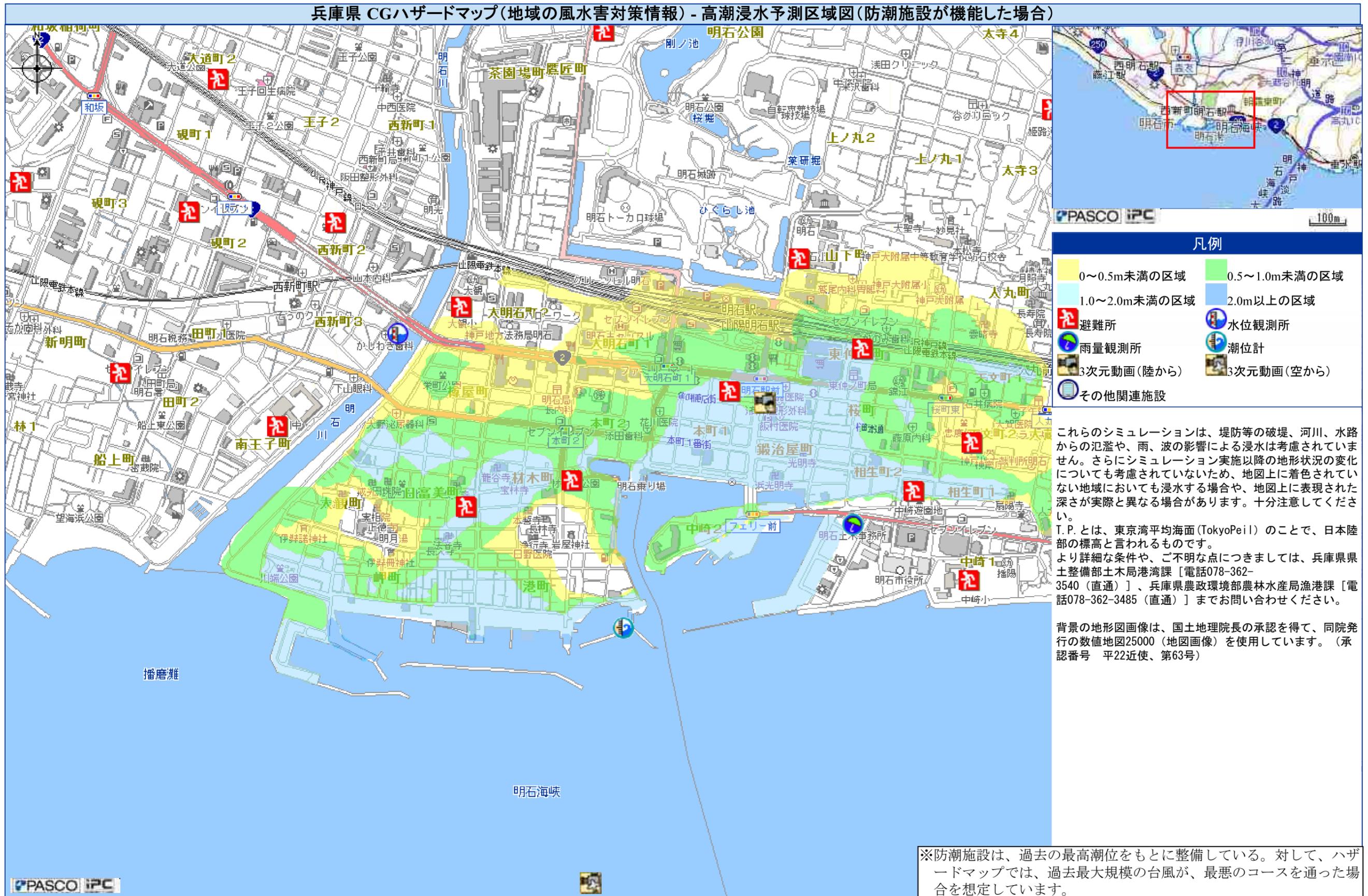
このマップは、南海トラフ巨大地震によって津波が発生した場合、どの程度の浸水が予測されるかについて、浸水の範囲や深さを色分けして表示したものです。予測にあたっては、水門などの海岸施設が機能しなかった(閉鎖されなかった)場合を想定しています。なお、これらの情報は計算上の予測結果であるため、地図上に着色されていない地域においても浸水する場合や、地図上に表現された深さが実際と異なる場合があります。また、浸水深が浅くても水に勢いがあると、歩行困難になる場合があり、早期の避難が必要です。より詳細な条件や、ご不明な点等につきましては、兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課[電話078-362-9809(直通)]までお問い合わせください。

背景の地形図画像は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を使用しています。(承認番号 平22近使、第63号)

※明石港エリアについて、一部、浸水区域があるものの、全て津波防護エリア外。

3. 明石港周辺のハザードマップ(高潮)

兵庫県 CGハザードマップ(地域の風水害対策情報) - 高潮浸水予測区域図(防潮施設が機能した場合)



凡例

0~0.5m未満の区域	0.5~1.0m未満の区域
1.0~2.0m未満の区域	2.0m以上の区域
避難所	水位観測所
雨量観測所	潮位計
3次元動画(陸から)	3次元動画(空から)
その他関連施設	

これらのシミュレーションは、堤防等の破堤、河川、水路からの氾濫や、雨、波の影響による浸水は考慮されていません。さらにシミュレーション実施以降の地形状況の変化についても考慮されていないため、地図上に着色されていない地域においても浸水する場合や、地図上に表現された深さが実際と異なる場合があります。十分注意してください。

T.P.とは、東京湾平均海面(TokyoPeil)のことで、日本陸部の標高と言われるものです。

より詳細な条件や、ご不明な点につきましては、兵庫県県土整備部土木局港湾課〔電話078-362-3540(直通)〕、兵庫県農政環境部農林水産局漁港課〔電話078-362-3485(直通)〕までお問い合わせください。

背景の地形図画像は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を使用しています。(承認番号 平22近使、第63号)

※防潮施設は、過去の最高潮位をもとに整備している。対して、ハザードマップでは、過去最大規模の台風が、最悪のコースを通った場合を想定しています。

- ※・予測潮位：T.P.+3.4m(設計潮位：T.P.+2.8m)
- ・モデル台風：第2室戸台風
- ・コース：第2室戸台風を西に1.5°移動